



## 「デジタルツールを活用した自治会活動」モデル事業の実施について

現在「スマートチャレンジくれ」の取組の一つとして、「ICTの活用による自治会役員の負担軽減策」について検討を進めております。

このたび、電子回覧板等の機能を持つ情報発信ツールを試験的に使っていただくことで、効果や課題を検証するモデル事業の募集を行ったところ、次のとおりモデル事業に参加する団体が決定し、実施することとなりました。

### 【モデル事業の概要】

自治会活動の支援につながるデジタルツールを、参加意欲のある自治会に一定期間試験利用していただき、今後の団体運営の実装モデルとなる可能性を検証することを目的として実施します。なお、試験利用を通じて、有効性や課題についてのアンケートにご協力いただきます。

### 1 実施団体（受付順）

番号	地区	団体名	使用するツール	団体の規模
1	音戸	音戸町早瀬区自治会	結ネット	約300世帯
2	第6	北迫町自治会	結ネット	約100世帯

### 2 実施スケジュール（今後の予定含む）

- 10月31日（月） モデル事業への参加意向・提案事業者説明会への申込期限
- 11月7日（月） 提案事業者説明会の実施（15団体が参加）
- 11月30日（水） モデル事業への最終エントリー期限（2団体から申込）
- 12月6日（火） 実施団体の決定、実施に向けた協議開始
- 1月11日（水） 管理者（運営者）向け説明会の実施
- 1月下旬～ 団体ごとに住民向けの操作説明会を開催  
 ※準備が整った団体から試験利用を開始  
 3月まで試験利用した後、アンケートを実施

### 3 その他

モデル事業に係る各団体の費用は無料です。（実施に必要なデジタルツールの利用料等は、スマートチャレンジくれの実証事業予算において対応します。）

また、使用するツールは、実施団体から希望のあったものを採用しています。